

令和8年度水稻害虫トラップ情報（8月下旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

（1）予察灯

誘殺数は、いずれの地点も平年並～少なく推移している。

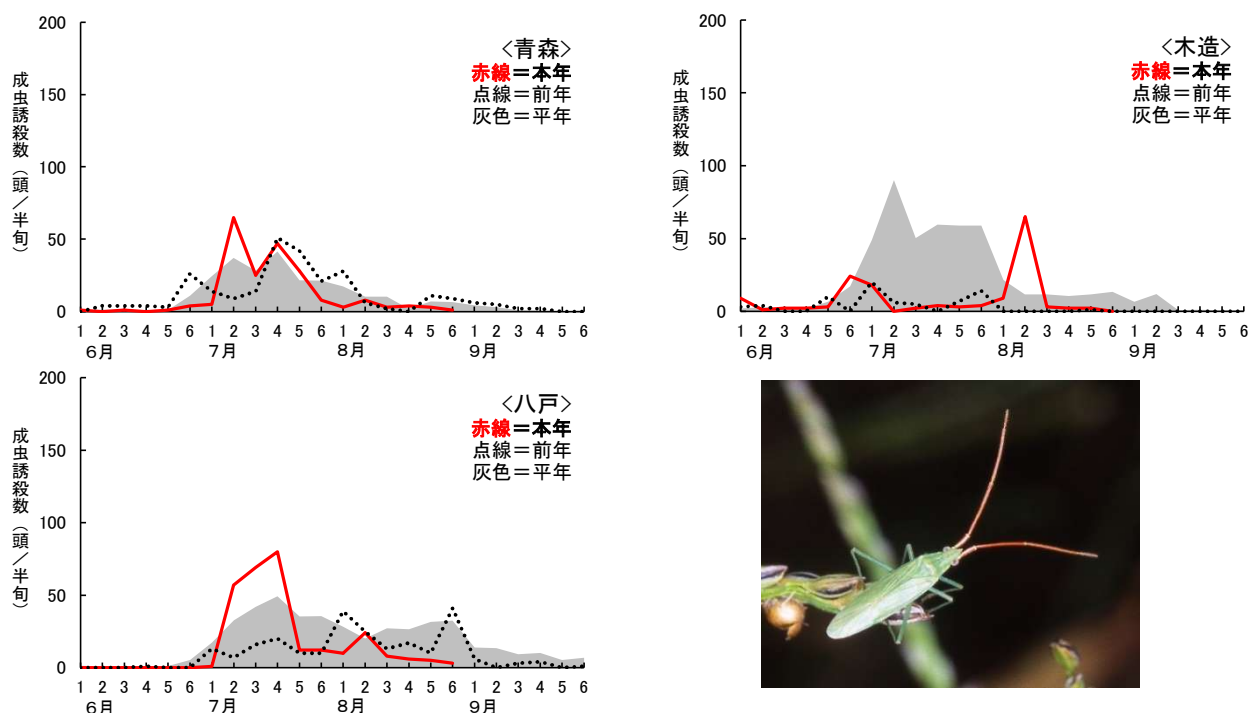


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値（7月12～14日）を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値（7月7～14日）を含む。

（2）性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、いずれの地点も平年並～少なく推移している。

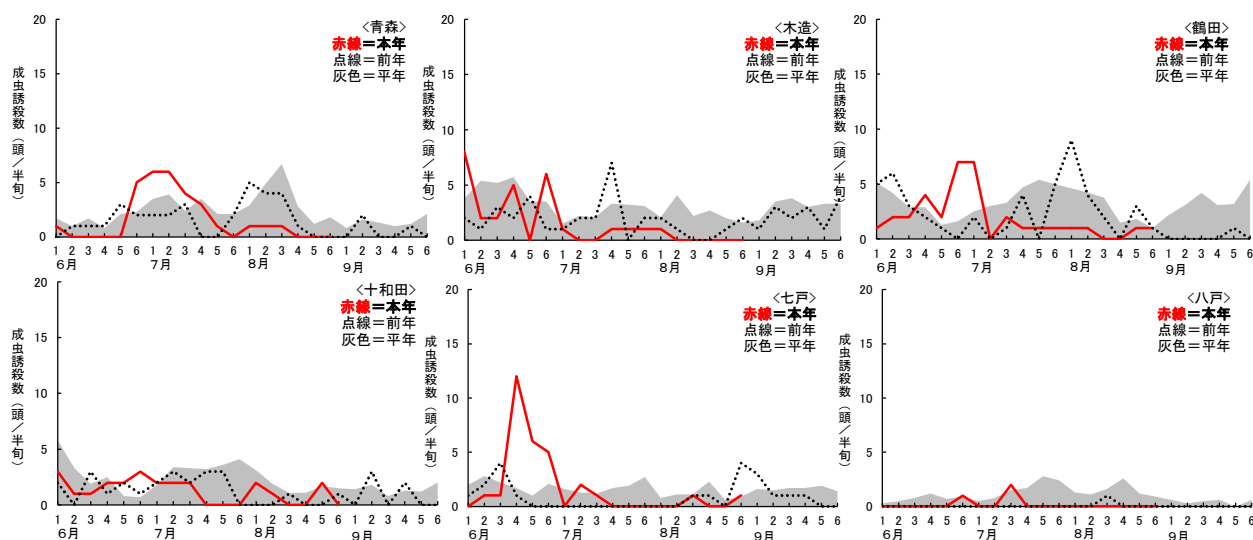


図2 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

2 アカスジカスミカメ

(1) 予察灯

誘殺数は、いずれの地点も平年並～少なく推移している。

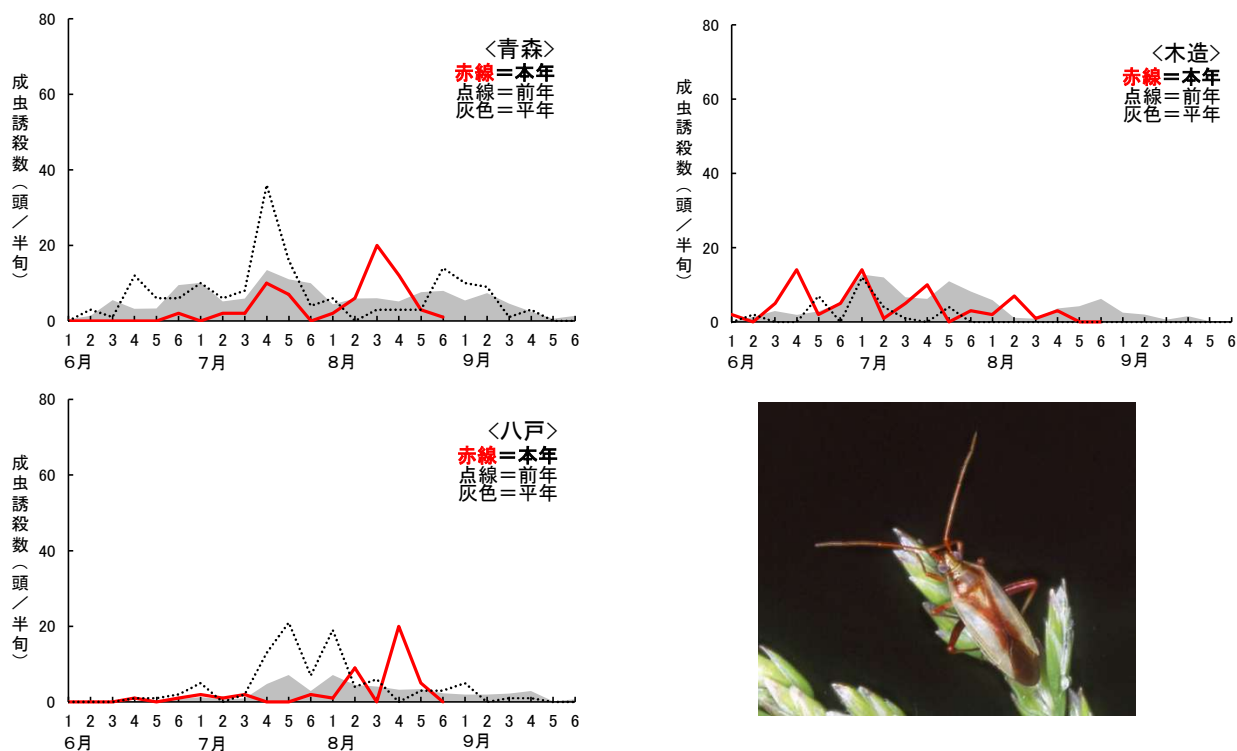


図3 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値（7月12～14日）を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値（7月7～14日）を含む。

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、鶴田が平年並～やや多く、その他の地点は平年並～少なく推移している。

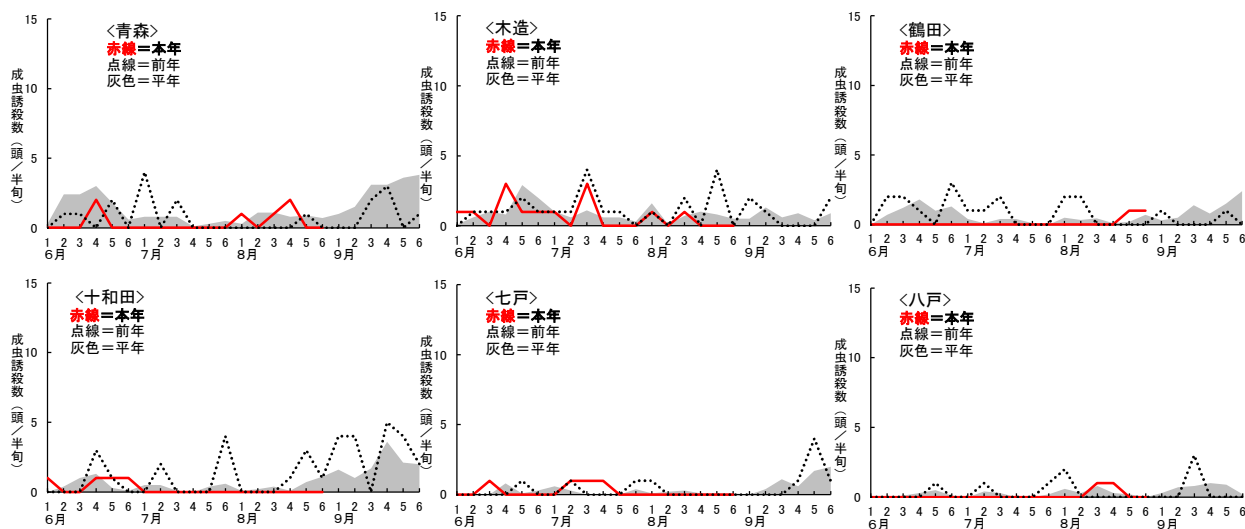


図4 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

3 フタオビコヤガ

(1) 予察灯

誘殺数は、いずれの地点も平年並～少なく推移している。

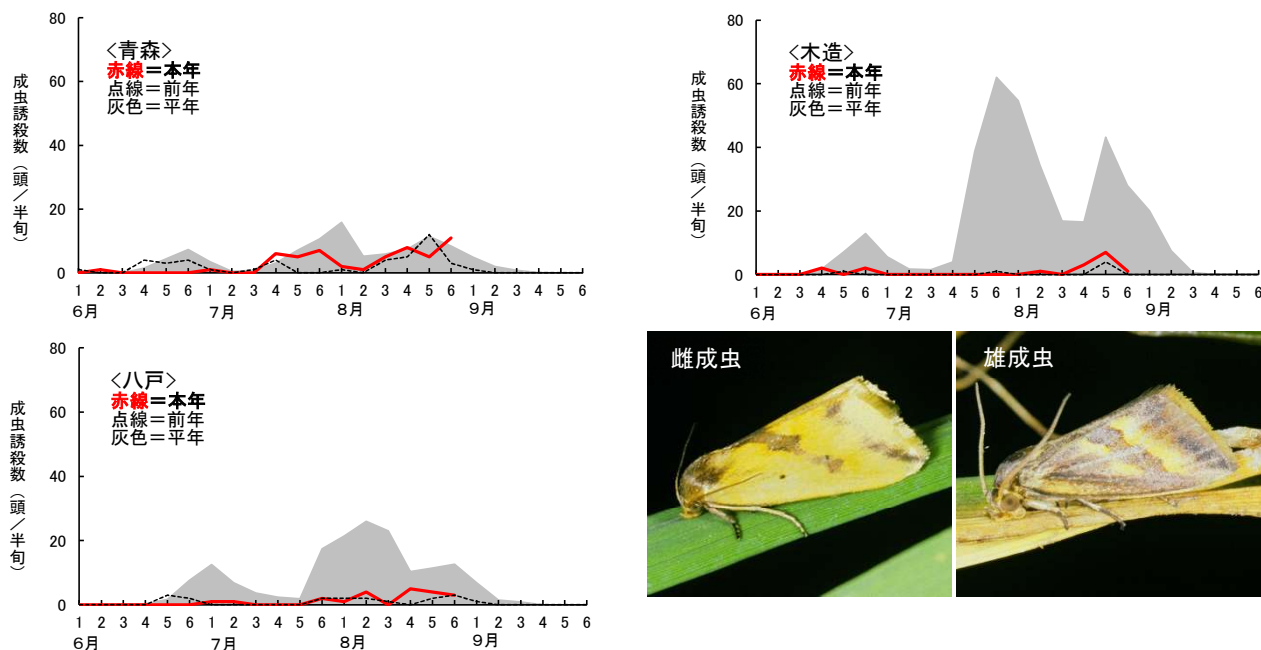


図5 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

※青森において、7月3半旬の値は欠測値（7月12～14日）を含む。

木造において、7月2半旬、3半旬の値は欠測値（7月7～14日）を含む。

(2) 性フェロモントラップ【畦畔】

誘殺数は、七戸で第6半旬に平年より多かったほか、いずれの地点も平年並～少なく推移している。

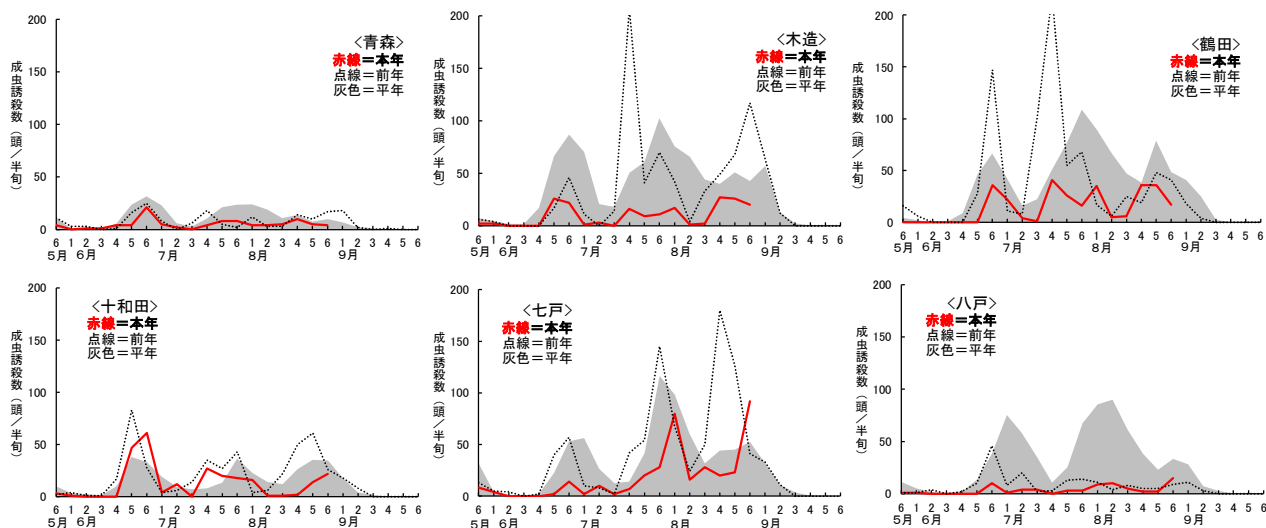


図6 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

【この情報に関する問合せ先】 担当：主幹 菊池 晴志

〒030-0113 青森市第二問屋町 4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900